

6月29日(月)

天使が去って

聖書朗読 ルカ 2:8~15

御使いたちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに話し合った。「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」
ルカ 2:15

羊飼いたちは栄光なる天国のような光景をその目で見て、その証人となったのです。彼らの目はまぶしさに、まだくらんでいました。しかし、羊飼いたちがたどりついたベツレヘムは、彼らが見た天上界とはほど遠いものでした。救い主なるイエス様の宿泊所は、今日でいうホテルの格付けでは一つ星でさえ得ることは無理だったでしょう。イエス様が生まれた宿は、丘のくぼみに作られた低い屋根の狭苦しい馬小屋だったのです。床にはワラが敷かれていたでしょうが、家畜の糞尿もあったにちがいありません。羊飼いたちは、キリストを星のなかに見つけたのではなかったのです。彼らはキリストを、汚れた馬小屋の中に、私たちが実際に住んでいる汚れた現実の世界に見つけました。

天使たちは、そこにはいませんでした。なぜならメシアは地上に天国を作るために来たのではなかったのです。かわりに、イエス様は私たちの地上での苦しみに参加するために来られました。人生の恥辱に苦しむために、サタンのなわ張りて罪を克服するためにです！ 争いが激化すると、良い人々は苦しみ、罪が勝利し続けます。天国は地上にはありません。

イエス様の人生は、信仰による戦いによって犠牲となりました。しかし、地上でのイエス様の死によって、戦いが終わったわけではありません。戦いは続きます。私たちは信仰をもってそれを続けなければなりません。しかし、私たちの勝利はイエス様によって確実なものとされているのです。

讃美歌 104

祈り 主よ。現実が私たちを圧倒するとき、私たちが戦争の囚われ人であることを私たちに思い出させてください。そして、地に足のついた救い主によって、救われることができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

マイラ・セトリフ・ブース・リース
テキサス州 ラボック

今日の力

2009年6月29日～7月5日

翻訳 海澤弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。
新改訳聖書第三版は、主に不快表現・差別表現が改訂されました。
(例) めくら・つんぼ 目の見えない人・盲目、等
らい病 (特定できない現象なので原語の) ツアラアト

御茶の水キリストの教会

マサチューセッツ州 サマーセット

7月2日(木)

恐 怖 を 克 服 し て

聖書朗読 ルカ 12:4~12

全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。
マルコ 16:15

恐怖に捕まってしまった！ 恐怖は私たちを尻込みさせますが、しかしまた、やる気にさせることもできます。クリスチャンは恐怖を避けるために、福音を分け合うことに余り積極的でないことがあります。イエス様が私たちに「ついて来なさい」、もしくは、「福音を人々に話なさい」とおっしゃったとき、それに伴うであろう私たちの恐怖についてもご存知でした。それゆえにこそイエス様は、私たちにこの簡単ではない、チャレンジをくださったのです。

さて、私はどのようにイエス様の呼びかけに応えましょうか？ 誰かを勇気づけるために、手紙をおくりましょうか？ 苦しんでいる聖者を支えるため、電話をかけましょうか？ 誰かとインスピレーションをくれる冊子について思いを語り合いましょうか？

イエス様は恐怖を感じていたはずです。十字架が自分を待っていることを知っていたのですから。イエス様は、多くの宗教的指導者たちからの敵意や憎悪を経験していました。イエス様は、自分の話が間違っただけで伝えられたり、誤解されたりすることに気づいていました。イエス様も私たちと同じ様に、誘惑に負け、怖気づくこともあったはずですが、しかし、怖気づくかわりに、イエス様は父なる神に従ったのです！

さあ、私たちの恐怖を認め、キリストのためにその恐怖に打ち勝ちましょう。

イエス・キリストは、神の宝なる家のドアを私たちへ広く開いています。その中に入れば、私たちは大胆に豊かに生きられるのです。

讃美歌 289

祈 り お父様。自分自身の恐怖を悟り、それらに打ち勝つことができるように私たちの目を開いてください。そのために、救われるという福音を分け合うことによってあなたの意思に従うことができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

オースティン・エメリイ
アーカンソー州 メナ

7月3日(金)

価値ある物を失った後で、それを再び見つける時

聖書朗読 ルカ 15:8~10

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。

ルカ 19:10

イスラエルへ旅行したとき、私は美しいペンダントを見ました。ペンダントには、ヘブライ語で「私の愛する方は私のもの。私はあの方のもの(ソロモンの雅歌 2:16)」と彫られていました。妻へのみやげとして、これ以上のものはないと、その場でそれを買いました。妻はそのペンダントを宝物とし、それを洗面所の排水口に流してしまったときは、とても困惑しました。しかし、友人の水道管工の助けにより、ペンダントは無事に戻りました。その後、信じられないかもしれませんが、妻は料理をしている最中にペンダントを落とし、実際にそれを飲み込んでしまいました。そして、外科医の処置によってペンダントは再び妻のもとに戻されました。二回とも、彼女は今までにないほど喜びました。

ルカ 15章のたとえ話にでてくる女性も、コインをなくしました。その当時、コインはとても貴重なものでした。どんなコインでも稼ぐのに非常な努力が必要だったのです。次の食事が大勢の人にとって保障されていない時代でした。コインを一つでもなくせば、皆が飢えてしまったかもしれません。ですから、なくなったコインを見つけたとき、彼女が非常に喜んだのは当然なのです！

さあ、喜びましょう。あなたは見つけられたのですから。失ったと思った物が見つかった！

讃美歌 第二編 167

祈 り 親愛なる主よ。あなたは<その護りの手の内に私たちすべてを抱えようとしてくださいます。尽きることのないあなたの愛に感謝します。私たちがあなたの抱擁を決して疑ったりしませんように。

イエス様の御名において。アーメン。

グローバー・シップ
オクラホマ州 エドモンド

7月4日(土)

動機と意図するところ

聖書朗読 ルカ 18:9~14

人間の息は主のともしび、腹の底まで探り出す。 箴言 20:27

犯罪が起これば起訴する前に必ず、その法を破った者の犯行の動機と意図について、注意深く取り調べが行われます。その犯罪が故意になされたものなのか、それとも事故なのか？ 前もって計画されたものなのか、正当防衛のためだったのか？ その答え次第で、法を破った者が受ける刑罰が大きくかわってきます。

神様もまた、私たちの行動の動機と意図に興味をお持ちです。私たちが何をするかだけでなく、なぜそれをするのかにも興味があるのです。二人の人が同じ行動をとっても、神様は片方を喜び、もう片方については喜ばないことがあります。その良い例が、カインとアベルが主に捧げ物をしたとき(創世記4)、そしてパリサイ人と取税人が神様に祈ったとき(ルカ18:14)です。

聖書は警告しています。『思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。』(ガラテヤ6:7) 外見からは、神様の御心に従っているように見えるかもしれませんが、しかし、『主は人のたましいの値うちをはかられる。』(箴言16:2)のです。神様は「すべての人の心を知っておられる」のです！ さあ、なぜそれをするのか、そして何をするのか、行動する前に注意深く考えて見ましょう。あなたの行動を、神様は喜ばれるのでしょうか？

讃美歌 第二編161

祈り ああ、神様。謙虚にお願いします。私たちの心を純粋に造りかえてください。私たちの内なる精神を新しくしてください。あなたにお仕えしながら、その動機をいつも心に留めて置けるようにしてください。

イエス様の御名において。アーメン。

テリー・L・シュミット
メイン州 ビッデフォード

7月5日(日)

掘り出し物を見つける才能

聖書朗読 ヨハネ 4:16~26

これは、主が設けられた日である。この日を楽しみ喜ぼう。

詩篇 118:24

その女性は、その日が特別な日になろうとは、まったく想像していませんでした。彼女はいつもどおり、水を汲むために井戸へ行ったのです。彼女の仕事は、あまりにも当たり前すぎて、おそらく家族や友人からはほとんど感謝されることはなかったにちがいありません。その日遅く、井戸へ水を汲みに行ったということは、その町の他の女性たちはもう井戸端にはいなかったであろうということを意味します。もし井戸端で、見知らぬ男が一人、彼女に水を飲ませてくれと頼まなかったなら、彼女の水汲みは寂しい普段どおりの日課として終わっていたことでしょう。彼女は、その見知らぬ男に興味をもちました。その人は彼女の過去を知っていました。彼女の心をとらえ、彼女の精神に挑戦してきました。そして彼女は悟ったのです。この方がキリストであると。何という日でしょうか！

私たちは、今日何が起こるかについて、自分自身の期待をもって一日を始めます。しかしながら、普段通りに過ごそうとしていてさえ、その日その日は可能性に満ちているのです。神様は特別なことが偶然に起こるように、私たちのために計画されています。それは神様からの教え、または奉仕という形をとって現れるかもしれません。そのような特別なことが起こった日を、私たちは決して忘れないでしょう。井戸端で水汲みの女性がしたすばらしい経験は、時代をこえて人々の記憶に残っています。偶然に出会い、彼女に話しかけられたその人こそが、約束されたメシアであったのです。彼女はその贈り物を他の人々と分け合いました。それにより、すべての人々にとってその日は特別な日となりました。さあ、私たちの人生に神様が働いてくださるという期待をもって、日々に向かいましょう。

讃美歌 54

祈り 天国のお父様。この日を私たちにくださり感謝いたします。機会をちゃんととらえることができるように、私たちの目を開いてください。私たちが日々、あなたの恵みとやさしさを悟ることができますように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

メアリー・エステス
カリフォルニア州 サウザンドオークス